



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS  
コード番号 7638 URL <https://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神尾 常夫

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,948	3.1	1,454	4.0	1,547	3.7	723	21.9
2023年3月期第2四半期	10,264	23.1	1,399	52.5	1,608	62.5	926	84.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 560百万円 (20.1%) 2023年3月期第2四半期 701百万円 (62.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	47.11	
2023年3月期第2四半期	58.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,985	8,419	37.4
2023年3月期	22,394	9,398	41.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,215百万円 2023年3月期 9,232百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		100.00	100.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,700	10.4	4,000	21.1	4,000	18.7	2,000	15.8	130.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	16,626,375 株	2023年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,259,167 株	2023年3月期	1,258,395 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	15,367,544 株	2023年3月期2Q	15,857,022 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)は、ロシア、ウクライナ紛争などの影響により世界的に高額な絵画や宝石の取引が少なくなったことでグループ売上高は前期を僅かに下回りましたが、社会情勢や景気、不景気に左右されないブライダルジュエリー事業単体では国内外共に前年同期を上回る売上高、利益を計上し業績を牽引致しました。また、ブライダルジュエリー事業が堅調に推移している事でグループ全体の営業利益も前年同期を上回りました。経常利益に関してはシンガポール事業への先行投資による費用増と営業外収益(為替差益)の影響で前年同期を下回りましたが、基幹事業における利益創出はより堅実なものとなっております。

当第2四半期連結累計期間におけるグループの業績は、売上高99億48百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益14億54百万円(前年同期比4.0%増)、経常利益15億47百万円(前年同期比3.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益7億23百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

2024年3月期は売上重視の経営から利益重視の経営に変革し、引き続き主力であるジュエリー・アート・オークション事業の国内外における堅実な成長展開を推進すると共に、不採算事業であるヘルス&ビューティー事業(ラ・パルレ)とスポーツ事業(CRAZY)に関しては、業績が回復しても当社が考える友好的合併企業の条件『経常利益率10%』が見込めない為、清算の対象となり2023年11月10日の取締役会決議にて全員一致で2社の売却方針を決定致しました。現在具体的に複数の売却先候補と条件交渉を進めております。また、企業パートナー連合を組成して各事業を補完、強化する友好的合併案件も並行して進めており、秘密保持契約を締結し具体的な細部の煮詰めに入っているものが3件、その他3件ほどの案件も積極的に進めております。

当社は、「みんなの夢の企業グループ NEW ARTはアートの持てるすべての力であなたを美と健康と幸せに導きます」という企業理念のもとに、2024年3月期の期末配当は2023年7月18日に発表させていただきましましたとおり、1株につき70円の普通配当に感謝特別配当30円を加算した1株につき100円を予定しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

### ①ジュエリー・アート・オークション事業

当第2四半期連結累計期間におけるジュエリー・アート・オークション事業の売上高は90億3百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益は19億35百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間のジュエリー事業においては、長引くロシア、ウクライナ紛争の影響や円安によるダイヤモンドの仕入値アップや金、プラチナ相場の上昇などもある中、前年同期を上回る売上、利益をあげることができました。要因として国内新規出店地区の売上増と海外店舗の売上増があげられます。4月14日の銀座ダイヤモンドシライシ/エクセルコダイヤモンド仙台パルコ2店のオープンを皮切りに5月に沖縄パルコシティ店、9月に松江店、10月にはアイネス福山店をオープンし今期4店舗の新規出店を果たしました。また、海外事業(台北忠孝店、板橋店、桃園店、新竹店、台中店、台南店、香港尖沙咀 The ONE店)に関しても安定した利益をあげられる体制が整い、新たな新規出店を見据える事で更なる利益の拡大を見込んでおります。2023年7月13日に発表した中期経営計画のとおり国内未出店地区に年間5店舗、3年間で15店舗、また同時に台湾、香港に年間1～2店舗の出店を予定しております。今後もグループの基幹事業として経済情勢をみながら積極的な成長展開と製造部門の強化を行い、利益創出をしてまいります。

オークション事業においては、定期的な国内オークションの開催にて利益を創出しており、今後は海外のオークション事業者との業務提携・資本提携を視野に入れた緊密な連携を図り、今後もNEW ARTグループの柱となるよう、国際的なオークションハウスとして積極的に事業を展開してまいります。

### ②ヘルス&ビューティー事業

当第2四半期連結累計期間におけるヘルス&ビューティー事業の売上高は7億78百万円(前年同期比35.0%減)、セグメント損失は2億40百万円(前期同期はセグメント損失1億32百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間は、抜本的な改革として不採算4店舗及び一部オフィスの解約を進め経費削減に努めましたが事業縮小に伴う売上の減少も進み前年同期を上回る損失を計上する結果となりました。業績が回復しても当社が考える友好的合併企業の条件『経常利益率10%』が見込めない為、清算の対象となり2023年11月10日の取締役会決議にて全員一致で友好的合併売却方針を決定致しました。現在具体的に複数の企業と従業員の待遇面等条件交渉を進めております。

③その他事業

当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は1億95百万円（前年同期比29.3%増）、セグメント損失16百万円（前期同期はセグメント損失48百万円）となりました。

スポーツ事業においては、「CRAZY」ブランドで展開しているゴルフクラブの販路を拡げるため、新商品の開発や試打会などの営業活動を行いました。業績の回復には至らず前年同期を上回る損失を計上する結果となりました。業績が回復しても当社が考える友好的合併企業の条件『経常利益率10%』が見込めない為、清算の対象となり2023年11月10日の取締役会決議にて全員一致で友好的合併売却方針を決定致しました。現在具体的に複数の企業と従業員の待遇面等条件交渉を進めております。

軽井沢リゾート開発事業においては友好的合併をしたホテル軽井沢エレガンスがインバウンドの回復もあり業績は順調に推移しております。その他建築家隈研吾氏設計の高級分譲レジデンス事業は2024年度の売り出しに向けて着々と計画が進行中です。また、当社は旧軽井沢エリア、および中軽井沢エリアに合計約22,000㎡に及ぶ敷地を有しております。先般、国土交通省が発表した今年度の基準地価でも軽井沢は全国平均に比べ非常に高い上昇率を記録しております。現在もその値上がりは続いており、決して一過性ではない安定した需要が軽井沢という高級リゾート地域を高く評価しており、この傾向は現在も続いております。また、これらの土地は事業のために取得したものであり、土地の高騰を狙った投機的な取得ではありませんが、結果的にこれらの土地がもたらす大きな含み益（当社が所有している土地は実勢販売価格で年率15%値上がりをしており、時価6,950百万円の土地が15%値上がりした場合、年間で6,950百万円×15%=10億4,250百万円の含み益が毎年発生）は、当社の財務基盤を一層強固なものにしています。そしてこの含み益は、現在進行中の高級分譲レジデンス事業の売り出し価格に大きく生かされていきます。以上のことから今後の軽井沢リゾート開発事業は更なる収益の拡大が見込まれております。

(注) 各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (千円)	前年同期 増減率 (%)	構成比 (%)
ジュエリー・アート・オークション事業	ブライダルジュエリーの製造・販売、ブライダル関連サービス、美術品の販売、アートオークションの運営等	9,003,491	0.9	90.5
ヘルス&ビューティー事業	エステティックサロンの運営、化粧品及び健康食品等の製造・販売	748,896	△37.0	7.5
その他事業	クレジット事業、ゴルフ用品の製造・販売、関連スポーツ用品の開発・製造、ホテル・結婚式場の運営・リゾート開発事業	195,624	29.3	2.0
合 計		9,948,012	△3.1	100.0

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比12億22百万円減少（前連結会計年度末比9.3%減）し、118億81百万円となりました。これは、商品及び製品の増加5億26百万円がありました一方で、現金及び預金の減少17億46百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比8億14百万円増加（同8.8%増）し、101億3百万円となりました。これは、土地などの有形固定資産の増加12億円がありました一方で、繰延税金資産などの投資その他の資産の減少3億61百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比4億8百万円減少（同1.8%減）し、219億85百万円となりました。

### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比5億28百万円増加（前連結会計年度末比5.9%増）し、94億23百万円となりました。これは、短期借入金の増加5億89百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比41百万円増加（同1.0%増）し、41億43百万円となりました。これは、長期借入金の増加1億67百万円がありました一方で、資産除去債務の減少46百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比5億70百万円増加（同4.4%増）し、135億66百万円となりました。

### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比9億78百万円減少（前連結会計年度末比10.4%減）し、84億19百万円となりました。これは、剰余金の配当15億36百万円及び為替換算調整勘定の減少1億39百万円がありました一方で、親会社株主に帰属する当四半期純利益7億23百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は37.4%（前連結会計年度末は41.2%）となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ、17億64百万円減少し、8億63百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、80百万円（前年同期は12億99百万円の資金の獲得）となりました。これは主として、法人税等の支払額11億78百万円、棚卸資産の増加5億57百万円及び売上債権の増加1億71百万円による資金の減少がありました一方で、税金等調整前四半期純利益14億61百万円及び法人税等の還付額3億16百万円による資金の増加などによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、10億63百万円（前年同期比8億39百万円増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出12億43百万円がありました一方で、長期貸付金の回収による収入2億29百万円などによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、6億47百万円（前年同期比16億35百万円減）となりました。これは主として、配当金の支払額15億29百万円がありました一方で、長期借入れによる収入8億42百万円などによるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表を致します。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,664,237	917,373
受取手形、売掛金及び契約資産	1,855,947	2,035,956
商品及び製品	6,455,520	6,982,288
仕掛品	50,253	31,831
原材料及び貯蔵品	251,780	300,793
販売用不動産	1,118,021	1,118,021
前払費用	162,491	179,698
その他	846,734	614,794
貸倒引当金	△300,456	△299,097
流動資産合計	13,104,529	11,881,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,036,662	2,310,223
機械装置及び運搬具(純額)	3,704	3,384
工具、器具及び備品(純額)	831,090	816,282
土地	3,315,761	4,006,074
リース資産(純額)	248,041	252,878
建設仮勘定	209,638	456,546
有形固定資産合計	6,644,898	7,845,389
無形固定資産		
のれん	284,108	260,862
その他	71,357	69,368
無形固定資産合計	355,465	330,231
投資その他の資産		
投資有価証券	290,471	251,575
長期貸付金	183,200	16,000
繰延税金資産	427,669	298,644
敷金及び保証金	1,351,639	1,330,672
その他	329,374	55,959
貸倒引当金	△292,965	△24,539
投資その他の資産合計	2,289,390	1,928,312
固定資産合計	9,289,753	10,103,933
資産合計	22,394,283	21,985,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	274,161	374,690
短期借入金	3,536,000	4,125,000
1年内返済予定の長期借入金	755,696	1,073,653
リース債務	86,188	98,179
未払金及び未払費用	985,411	893,155
未払法人税等	787,201	603,401
契約負債	1,826,230	1,927,149
その他	643,623	327,916
流動負債合計	8,894,513	9,423,146
固定負債		
長期借入金	2,248,301	2,416,054
リース債務	128,041	102,620
退職給付に係る負債	247,318	237,904
資産除去債務	660,197	614,125
その他	817,810	772,348
固定負債合計	4,101,670	4,143,053
負債合計	12,996,183	13,566,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,474,276	2,474,276
利益剰余金	5,795,246	4,981,378
自己株式	△1,403,305	△1,404,593
株主資本合計	9,483,469	8,668,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,425	△115,932
為替換算調整勘定	△197,204	△337,113
その他の包括利益累計額合計	△250,630	△453,045
非支配株主持分	165,260	204,125
純資産合計	9,398,099	8,419,393
負債純資産合計	22,394,283	21,985,593



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,264,530	9,948,012
売上原価	3,908,719	3,325,896
売上総利益	6,355,810	6,622,115
販売費及び一般管理費	4,956,675	5,167,430
営業利益	1,399,135	1,454,685
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,043	4,313
為替差益	221,619	142,982
その他	16,578	8,346
営業外収益合計	243,242	155,642
営業外費用		
支払利息	32,680	60,284
その他	1,670	2,105
営業外費用合計	34,350	62,390
経常利益	1,608,027	1,547,937
特別利益		
投資有価証券売却益	1,170	—
特別利益合計	1,170	—
特別損失		
減損損失	14,619	86,829
関係会社株式評価損	20,084	—
特別損失合計	34,703	86,829
税金等調整前四半期純利益	1,574,494	1,461,108
法人税、住民税及び事業税	591,755	596,892
法人税等調整額	41,069	101,420
法人税等合計	632,825	698,312
四半期純利益	941,668	762,795
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,932	38,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	926,736	723,930

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	941,668	762,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,030	△62,506
為替換算調整勘定	△152,569	△139,908
その他の包括利益合計	△240,600	△202,415
四半期包括利益	701,068	560,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686,136	521,515
非支配株主に係る四半期包括利益	14,932	38,865

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,574,494	1,461,108
減価償却費	157,499	188,398
減損損失	14,619	86,829
のれん償却額	23,146	23,245
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	650	3,219
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,846	△9,413
受取利息及び受取配当金	△5,043	△4,313
支払利息	32,680	60,284
為替差損益 (△は益)	△34,822	△4,155
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,170	—
関係会社株式評価損	20,084	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△669,465	△171,604
棚卸資産の増減額 (△は増加)	518,719	△557,358
仕入債務の増減額 (△は減少)	189,392	100,529
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△66,010	△192,512
契約負債の増減額 (△は減少)	340,253	88,469
未払又は未収消費税等の増減額	△116,470	64,351
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△130,061	△124,837
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	8,889	△231
その他	△193,490	△179,281
小計	1,677,740	832,727
利息及び配当金の受取額	5,043	4,313
利息の支払額	△32,452	△55,934
法人税等の還付額	564,049	316,786
法人税等の支払額	△914,826	△1,178,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,299,554	△80,901
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△18,000
有形固定資産の取得による支出	△98,067	△1,243,578
無形固定資産の取得による支出	△10,680	△6,547
投資有価証券の取得による支出	△108,869	—
投資有価証券の売却による収入	58,832	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	8,965	—
関係会社株式の取得による支出	△21,691	—
長期貸付金の回収による収入	33,600	229,600
敷金及び保証金の差入による支出	△83,443	△24,192
敷金及び保証金の回収による収入	8,952	628
その他	△12,073	△1,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,476	△1,063,952

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△248,340	589,000
長期借入れによる収入	500,000	842,414
長期借入金の返済による支出	△351,744	△387,669
割賦債務の返済による支出	△115,475	△118,629
リース債務の返済による支出	△54,570	△41,291
自己株式の取得による支出	△834,068	△1,288
配当金の支払額	△1,178,385	△1,529,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,282,584	△647,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	95,812	26,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,111,693	△1,765,360
現金及び現金同等物の期首残高	3,322,781	2,628,237
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	497
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,211,087	863,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・ アート・オー クション事業	ヘルス&ビュー ティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	8,907,815	1,186,055	133,223	10,227,094	—	10,227,094
その他の収益(注) 3	17,573	1,751	18,110	37,435	—	37,435
外部顧客への売上高	8,925,388	1,187,807	151,334	10,264,530	—	10,264,530
セグメント間の内部 売上高又は振替高	542	9,963	—	10,506	△10,506	—
計	8,925,931	1,197,771	151,334	10,275,037	△10,506	10,264,530
セグメント利益又は 損失(△)	1,737,096	△132,191	△48,334	1,556,570	△157,435	1,399,135

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△157,435千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ヘルス&ビューティー事業において、店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、14,619千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

その他事業において、第1四半期連結会計期間より有限会社軽井沢エレガンスカンパニーの株式を取得し、同社を連結子会社にいたしました。当該事象によるのれんの増加額は、157,683千円になります。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・ アート・オー クシヨ事業	ヘルス&ビュー ティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	8,989,847	747,372	177,346	9,914,566	—	9,914,566
その他の収益 (注) 3	13,643	1,523	18,278	33,445	—	33,445
外部顧客への売上高	9,003,491	748,896	195,624	9,948,012	—	9,948,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	433	29,104	—	29,537	△29,537	—
計	9,003,924	778,000	195,624	9,977,549	△29,537	9,948,012
セグメント利益又は 損失 (△)	1,935,394	△240,900	△16,286	1,678,207	△223,522	1,454,685

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△223,522千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ジュエリー・アート・オークシヨ事業において、店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、18,674千円であります。

ヘルス&ビューティー事業において、店舗資産等に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、68,155千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。